

●愛知県へ譲与された森林環境譲与税を活用した事業の詳細（令和5年度）

事業名	事業総額（千円）			事業内容 ※枠内の〔 〕は事業区分	実績							
	(A)+(B)	(A)うち令和4年度 の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の 財源（千円）		市町村等を対象にした研修会・講習会			経営体等への支援		担い手を対象にした研修・講習、求人イベント等		その他の実績値
					回数 (回)	参加者 数 (人)	市町村数	経営体数	支援対象者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)	
森林環境譲与税 活用事業費 (人材育成事業費)	69,306	69,306	0	〔担い手の確保〕 新規林業就業者の確保に向けて、森の仕事PR、エリアガイダンス等を行う。						24	475 (延)	
				〔担い手の育成〕 〔林業経営体の育成〕 〔新技術の習得〕 森林整備の担い手や事業体を育成するため、現場技能者や経営体職員に対する研修により、現場で求められる知識及び技能の向上、安全対策強化や作業効率化による事業体の経営力の向上を図る。						48	399 (延)	
				〔市町村職員のスキルアップ〕 森林整備及びその促進等を担う市町村職員に対する研修等により、知識及び技能の向上を図る。市町村サポート体制の強化に向け相談窓口等を外部委託	10	181	35					
森林環境譲与税 活用事業費 (木材利用拡大事業費)	57,033	57,033	0	〔木造非住宅建築物における設計・建築実証〕 非住宅建築物を対象に、建築コストや工期等について木造と非木造の比較実証を行い、実証データを非住宅建築物の木造化促進に活用する。								設計実証：5件の実証 建築実証：2件の実証
				〔県産木材の普及啓発〕 イベント等を活用し、県産木材の利用について県民の関心と理解を深め、県産木材の消費拡大を図る。								木材利用普及啓発イベント 主催：1件 ブース出展：3件
				〔市町村職員等への木材利用研修〕 市町村における木材利用の促進に向け、市町村職員等に対し、木材利用の基礎的な知識や利活用などの研修を実施。	12	111	28					
				〔あいち木造・木質化サポートセンター〕 木造・木質化を進めようとする施主や事業者のニーズを的確に捉えるため、施主等と建築士や設計事務所、木材産業者を繋げるためのサポートセンターを設置。								サポートセンター相談件数：21件
				〔大径材需要拡大促進〕 大径材の需要拡大を図るため、外国産材に依存している建築部材の県産木材への切り替えに向けた課題を調査し、効果的な施策を検討。								大径材需要拡大促進検討会：3回開催
森林環境譲与税 活用事業費 (森林情報整備事業費)	27,727	27,727	0	〔森林クラウドシステム運用・保守〕 県が航空レーザ計測データにより取得した詳細な解析データや既存の森林情報を効率的に市町村と共有するために必要な森林クラウドシステムの運用・保守。	2	40	15					
				〔航空レーザ計測データを活用した境界推定図の作成・提供〕 県で取得した航空レーザ計測データである微地形表現図や林相区分図などの詳細な現地情報を参考として、境界推定図の作成手法を確立するため、モデル事業を行い、市町村に提供。	0	0	0			0	0	
				〔森林クラウドシステムの機能拡充〕 効率的に筆毎の森林の現況を把握し、森林整備を進める市町村の支援に繋げるため、森林境界の明確化等で決めた境界ごとの森林資源情報を自動集計できるよう機能拡充等を行った。	0	0	0			0	0	

●愛知県へ譲与された森林環境譲与税を活用した事業の詳細（令和5年度）

事業名	事業総額（千円）		事業内容 ※枠内の〔 〕は事業区分	実績								
	(A)+(B)	(A)うち令和4年度 の森林環境譲与税 （千円）		(B)うち他の 財源（千円）	市町村等を対象にした研修 会・講習会			経営体等への支援		担い手を対象にした研 修・講習、求人イベント 等		その他の実績値
		回数 (回)		参加者 数 (人)	市町村数	経営体数	支援対象者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)			
あいちのスマート林業 推進事業費	10,581	10,581	0	[木材需給情報システム導入] 生産～流通過程の情報を透明化して、県産木材を利用する最適な需要先への原木配送、納期の短縮、コスト削減を図るため、木材需給情報システム導入し民間による森林整備を推進する。	1	5	3			15	31	システム導入において木材生産・流通プラットフォームを構築し、木材生産業者8者、運送業者2者、製材工場2者が参加した。
				[スマート林業定着促進プラン作成] あいちのICT林業活性化構想の中間年を迎えるにあたり、構想で中期目標とした取組について振り返るとともに、林業経営体のスマート林業導入による業務合理化に向けた取組をまとめたプランを作成する。								